

【0009・市民活動サポートセンター・アンティ多摩収集資料】

1. 資料群概要（フォンドレベルの情報）

(1) 作成主体：

市民活動サポートセンター・アンティ多摩

(2) 資料群名称：

市民活動サポートセンター・アンティ多摩収集資料

(3) 年代：

1990年代後半～2010年頃

(4) 要約：

本資料群は“特定非営利活動法人市民活動サポートセンター・アンティ多摩”（以下「アンティ多摩」と略記）が収集した資料の一部が移管されたものである。内容としてはミニコミを中心とし、ほか、自治体広報誌やイベントのビラ、施設のパンフレット等からなる。2010年8月9日に環境アーカイブズへ移管された。

総量：段ボール4箱（ファイル数197、アイテム数2096）

言語：日本語

2. 資料群の管理と利用に関する情報

(1) 出所（寄贈までの資料群の生成過程・変遷について説明）：

市民活動サポートセンター・アンティ多摩収集資料（以下「本資料群」と略記）は、アンティ多摩の活動の一つ、「市民活動に関わる資料・情報の収集と発信」において蓄積された資料のうち重複していたものからなる。本資料群は「0042・旧東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー所蔵資料」が本アーカイブズへ移管されるにあたり、2010年8月9日にミニコミ類の見本として0042に先駆けて移管された。期間としてはアンティ多摩が活動開始した2002年より、本アーカイブズに移管された2010年までに収集された資料が主となる。

(2) 他機関所蔵情報（他機関が持つ同一出所の資料群）：

環境アーカイブズに移管された以外のアンティ多摩が収集した資料については、アンティ多摩が主体となって運営していた「ミニコミ広場」（2006～2013年）を引き継いだ「市民アーカイブ多摩」が所蔵している。現在も継続してアンティ多摩は「市民アーカイブ多摩」にミニコミを寄贈している。「市民アーカイブ多摩」所蔵の資料については「市民アーカイブ多摩」HP（<http://www.c-archive.jp/index.html>）を参照のこと。

(3) 関連する資料群：

0042・旧東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー所蔵資料

(4) 利用の形態：

原資料での閲覧

(5) 整理方法についての情報：

本資料群は、2010年8月9日に段ボール箱合計4箱に詰められた状態で移管された。その後、環境アーカイブズにおいて、当時のRAによって移管された段ボールの上から順番に一定の点数ごとに封筒へ収納したようである。現在は197の封筒に分けて保管されている。

なお本資料群においては、アイテムレベルでの目録を作成した。これは、移管時点でアイテムが個々かつ順不同に収納されており、現状のファイル(封筒)区分に原蔵段階での情報が残っていないこと、またファイルの大多数は内容に統一性・法則性が存在しない「雑多」ファイルであり、ファイルレベルの目録では内容の把握・利用が困難と判断したためである。

(6) 引用する場合の表記方法：

「市民活動サポートセンター・アンティ多摩収集資料、受入番号0009、各資料番号、法政大学大原社会問題研究所環境アーカイブズ所蔵」と明記すること。

(7) 利用制限(望まれる利用方法・個人情報とプライバシー権・所有権や著作権等)：

環境アーカイブズ所定の個人情報取扱に準じる。

(8) 作成者の権利について：

所有権は法政大学大原社会問題研究所が有する。著作権は個々の資料による。

(9) 作成主体についての情報：

アンティ多摩は、東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー事業(以下「サービスコーナー」と略記)の廃止が濃厚となった2001年に、その受け皿として、サービスコーナーの職員や有志によって設立された市民活動支援のための市民団体である。翌2002年3月末にサービスコーナーが廃止されると、立川市内に事務所を開設、サービスコーナーの機能を受け継ぐ形で活動を開始した。

アンティ多摩は市民活動支援の一つとして、サービスコーナーの機能であったミニコミの収集を続けており、2006年からは「ミニコミ広場」を開催し、収集したミニコミを

公開していた。同じく 2006 年には市民活動資料の資料室開設を目指す“市民活動資料・情報センターをつくる会”（以下「つくる会」と略記）が発足、アンティ多摩はその中心となった。2014 年に「ミニコミ広場」より発展した「市民アーカイブ多摩」の開館が決定すると、つくる会は解散し、その後継団体として“ネットワーク・市民アーカイブ”が設立された。現在もアンティ多摩はネットワーク・市民アーカイブの事務局を担っている。

アンティ多摩については「アンティ多摩 法人概要」（<http://www.a-simin.com/page2-gaiyo.html>）、「市民活動のひろば」（<http://a-simin.com/>）も参照のこと。

(10) 資料群の内容：

本資料群の内容としては、アンティ多摩が収集してきたミニコミが中心となる。収集資料にはサービスコーナー時代に収集していたミニコミのうち、継続して収集されたものがあり、0042 旧東京都立多摩社会教育会館市民活動サービスコーナー所蔵資料との連続性が見られる。

地域範囲の点からは、多摩地域の団体によるものが最も多く、次いで 2 3 区、あるいは首都圏の団体によるミニコミが収集されている。ほか、市民団体によるイベントのビラや刊行物、市民講座・機関の案内やパンフレット等も含まれている。

(11) 関連文献

- ・ネットワーク・市民アーカイブ出版プロジェクト編『ようこそ！市民アーカイブ多摩へー市民活動の記録を残す運動の歩みー』（ネットワーク・市民アーカイブ出版プロジェクト、2020 年）
- ・杉山弘・大野光明・小杉亮子・松井隆志「社会運動アーカイブズ インタビュー 杉山弘さん（「ネットワーク・市民アーカイブ」運営委員） アーカイブズをつくり育てる市民運動」（大野光明・小杉亮子・松井隆志編『社会運動史研究 3 メディアがひらく運動史』新曜社、2021 年）
- ・江頭晃子「市民活動サポートセンター・アンティ多摩の挑戦」（東京・沖縄・東アジア社会教育研究会『東アジア社会教育研究』8 号、2003 年）
- ・江頭晃子「資料保管運動から資料センター開設までー市民活動資料・情報センターをつくる会のあゆみー」（『大原社会問題研究所雑誌』666 号、2014 年）

<https://oisr-org.ws.hosei.ac.jp/oz/contents/?id=2-001-9000646>

2024.8.26 資料群概要作成 R・A 玉土大悟